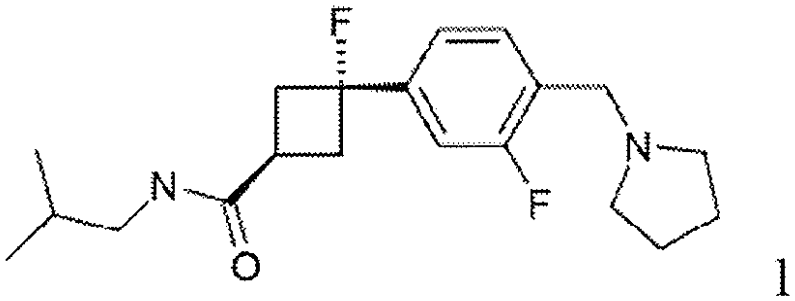
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公開番号】特開2009-161517(P2009-161517A)
【公開日】平成21年7月23日(2009.7.23)
【年通号数】公開・登録公報2009-029
【出願番号】特願2008-310400(P2008-310400)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 295/06 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/40 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/24 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/18 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/22 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/20 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/08 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/08 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/08 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 295/06 ＣＳＰＺ
Ａ６１Ｋ 31/40
Ａ６１Ｐ 25/24
Ａ６１Ｐ 25/18
Ａ６１Ｐ 25/22
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 25/20
Ａ６１Ｐ 3/04
Ａ６１Ｐ 1/08
Ａ６１Ｐ 25/08
Ａ６１Ｐ 11/00
Ａ６１Ｐ 37/08
Ａ６１Ｐ 11/02
Ａ６１Ｐ 9/02
Ａ６１Ｐ 9/00
Ａ６１Ｐ 1/00
Ａ６１Ｐ 1/04
Ａ６１Ｐ 43/00 １１１
Ａ６１Ｐ 43/00 １１３

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月9日(2009.12.9)

【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
トランス－Ｎ－イソブチル－３－フルオロ－３－［３－フルオロ－４－（ピロリジン－１－イルメチル）－フェニル］－シクロブタンカルボキサミドのトシル酸塩。
【請求項２】
式１の化合物のトシル酸塩。

【化１】



1

【請求項３】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき、２θ±０．２＝８．３５にあるＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項４】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき、２θ±０．２＝１６．６８１にあるＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項５】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき、２θ±０．２＝１９．０９６にあるＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項６】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき、２θ±０．２＝２１．５４にあるＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項７】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき、２θ±０．２＝２２．２１にあるＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項８】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき、２θ±０．２＝８．３５、１６．６８１、１９．０９６、２１．５４、および２２．２１のうち少なくとも２本のＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。
【請求項９】
銅（Ｋα$_1$＝１．５４０５６、Ｋα$_2$＝１．５４４３９）放射線を用いて測定したとき

、２θ±０．２＝８．３５、１６．６８１、１９．０９６、２１．５４、および２２．２１のうち少なくとも３本のＸ線回折パターンピークによって実質的に特徴付けられるＸ線回折パターンを有する、請求項１または２に記載の化合物。

【請求項１０】

無水またはほぼ無水の形である、請求項１に記載の化合物。

【請求項１１】

請求項１から１０のいずれかに記載の化合物と薬学的に許容できる担体とを含む医薬組成物。

【請求項１２】

うつ病、気分障害、統合失調症、不安障害、認知障害、アルツハイマー病、注意欠陥障害（ＡＤＤ）、注意欠陥多動障害（ＡＤＨＤ）、精神病性障害、睡眠障害、肥満、めまい、てんかん、動揺病、呼吸器疾患、アレルギー、アレルギーによって誘発される気道応答、アレルギー性鼻炎、鼻づまり、アレルギー性うっ血、うっ血、低血圧、心血管疾患、消化管疾患、消化管の運動性および酸分泌の過剰および低下を治療するための、請求項２に記載の化合物を含む医薬組成物。